

読解：パラグラフ展開の把握

到達目標

この回では、英文中の各パラグラフの役割を見きわめ、パラグラフ展開を把握する方法を学ぶために、各 **STEP** で下記の内容で学習を進めていく。

STEP1：各パラグラフはどのようにつながっているのかを読み解く
 ↳各パラグラフの英文中での役割を知る
 ↳パラグラフ展開を把握する

STEP2：パラグラフ展開を論理的に読み解き、正しい順番に並び換える
 ↳指示語の内容、具体例とのつながりを手がかりにする

STEP3：パラグラフ展開を正しく追い、話題となっている事柄についてまとめる
 ↳各パラグラフのトピックと、パラグラフ間のつながりを意識する
 ↳具体例は排除して共通項を抽出する

GOAL 英文中での各パラグラフの役割を見きわめ、パラグラフ展開を正しく追うことで、「文〔パラグラフ〕整序〔補充〕問題」「内容説明問題」などの、パラグラフ展開の理解に関わる問題を確実に解けるようにする。

STEP1 各パラグラフはどのようにつながっているのかを読み解く 10分

各パラグラフの英文中での役割を知る

パラグラフにはそれぞれ、トピックセンテンス（＝主題文）がある。パラグラフ展開を正しく捉えるためには、その内容から、**各パラグラフが英文中でどのような役割を担っているのか**を把握する必要がある。

Point 各パラグラフが英文中で担う役割を見きわめよう

《1》英文中の各パラグラフの役割は、そのパラグラフのトピックセンテンスから考える。トピックセンテンスはそのパラグラフの主題を表し、パラグラフの冒頭にくることが多い。役割のうち代表的なものは、以下を確認してほしい。「1つのパラグラフには1つのトピック」という原則があるので、同様に1つのパラグラフがいくつもの役割を持つことはまずないと考えてよい。

- ・英文全体のテーマを提示している⇒「導入」「主題の提示」「問題提起」
- ・自分の主張とは相反するものを述べている⇒「譲歩」「対照」
- ・自分の主張とは相反するものに対して反論している⇒「反論」「反証」
- ・具体例を挙げている⇒「例示」「具体化」
- ・文章のまとめ、あるいは筆者の考えを述べている⇒「結論」「筆者の主張」 など



パラグラフ展開を把握する

各パラグラフの役割をつかんだら、次は**パラグラフがどのように展開しているか**を確認しよう。パラグラフ展開を把握する際に注目すべきポイントは、以下でチェックしよう。

Point パラグラフ展開を把握する方法とパラグラフ展開の代表的なパターン

《2》パラグラフがどのように展開しているかをつかむには、①**ディスコース・マーカー**、②**指示語・代名詞が指すもの**、③**具体例が表すもの**に注目するとよい。ディスコース・マーカーは一般に接続語と呼ばれ、文と文、パラグラフとパラグラフのつながりを示してくれる。また、指示語や代名詞は何を受けているかを正しく読み取らなければ、どの話題が続いているのか読み誤ってしまう。具体例は筆者の主張や意見を読者によりわかりやすく伝えるためのものなので、何について説明するための具体例なのかを考えながら読むこと。

また、パラグラフ展開の代表的なパターンをいくつか覚えておくと、英文を読み解く際の手助けとなる。英文では、最初に主題や最も述べたいことを明示した後、自分の主張を補うための議論を展開させ、最後に、冒頭で述べた主題を繰り返すことが多い。

①**導入**／**主題の提示**／**問題提起**



②**議論の展開**—— 代表的なパターンと注目すべき語句

(1)**現状分析**／**譲歩**→**反論**・**反証**

‘逆接’のディスコース・マーカー：however / but / yet（しかし）など

(2)**例示**による主題の証明

‘例示’のディスコース・マーカー：for example [instance]（例えば）など

(3)**原因と結果**の検証

‘原因・結果’を表すディスコース・マーカー：as a result（その結果） / It is because …（というのは…だからだ） / It is why …（そういうわけで…）など

(4)複数の事柄の**比較**・**対照**

‘比較・対照’を表すディスコース・マーカー：in contrast（対照的に） / on the other hand（一方で） / while（…なのに対して）など

対義語・過去と現在・対になっている語句：subjective（主観的）と objective（客観的） / body（肉体）と soul（精神）など

(5)主張を裏付けるための材料を**時系列**に並べる

‘列挙’を表すディスコース・マーカー：first（初めに） / second（第2に）・then（次に） / finally（最後に）など

‘時系列’を表すディスコース・マーカー：once（かつて） / recently（最近） / at the present time（現時点で） / in the future（将来）など



③**結論**—— ①の「主題の提示」と重複する場合も多い。therefore（それゆえ）など

Point 《1》《2》を確認できると、筆者の論法・思考の流れが見えてくる。もし設問で一部の文やパラグラフが空所になっていたとしても、その他の部分について、「パラグラフの役割」と「パラグラフ同士のつながり」がわかっているならば、空所に入るものを推測できるのだ。